

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	24 単位 (675 時間)	10 単位 (240 時間)	
	柔道整復スポーツトレーナー学科	夜・通信	12 単位 (240 時間)	10 単位 (240 時間)	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	13 単位 (300 時間)	7 単位 (160 時間)	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページの情報公開ページにて公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関する確認欄あり。 https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林医療 福祉センター長 (2026. 4. 1～)	2020. 8. 25～ 2029 年度の定時 評議員会の終結 の時まで	業界の情報収集
非常勤	医療法人俊慈会 理事 (2011. 4. 1～)	2025. 5. 30～ 2029 年度の定時 評議員会の終結 の時まで	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
本校シラバスについては、学園統一の様式においてシラバスを作成している。各授業科目については、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容(予定)について、詳細に記載することになっている。例年、学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の各年度における運営や教育における目標を共有し、各学科における学年ごとの到達目標や科目目標を共有し、担当科目講師ごとに作成している。 特に卒業年次に国家資格を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映するように共通認識を持つようにしている。また試験規程や成績評価についても規程を基に統一見解をもつようにし作成している。 シラバスの公開については、各年度開始までにホームページを通じて公開するとともに授業毎に担当講師によって公開することとしている。	
授業計画書の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
授業科目の成績評価については、各科目において、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して評価し履修認定している。またレポートや実技試験などに対する評価も同様に評価することとしている。ただし、各授業科目の授業単位数の3分の1以上を欠席した者は、当該授業科目についての評価を受けることができない。 また学習意欲の把握については、学期毎にカリキュラムアンケートを実施し、学生による授業評価を実施している。それらアンケートには、学生自身の学習に対する姿勢についても確認する項目も設定しており、それから把握している。 これら事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程(成績評価基準)により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学習の評価基準は、素点 70%、出席評価点 20%、平素評価点 10%としている。それらの評価基準を基に学習の評価を優 (80 点以上)、良 (70 点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満)、不可 (60 点未満) としている。 GPA (GP:Grade Point Average) 評価に関しては、評価結果を 5 段階評価 (A から E) に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数 (GP : Grade Point Total) に置き換え、各学生個人の GP を算出し、各学科の成績分布を示している。 なお成績評価方法については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程 (成績評価基準) により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載し下記 URL にて公表するほか、入学時のオリエンテーションにて学生には通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/004.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業認定を実施している。 また卒業時の人材育成目標については、ディプロマ・ポリシーを策定し、ホームページ上で公表している。 またこれらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める課程の修了の認定において、詳細に記載し下記 URL にて公表することとしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/002.pdf https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/edu_goal/001.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療分野		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	105 単位（2955 時間）	53 単位 （1245 時 間）	29 単位 （810 時 間）	23 単位 （900 時 間）	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2955 単位時間／105 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人		38 人	0 人	7 人	31 人	39 人	
（備考）（ ）内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）昼間部3年制にて前期・後期の2期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して4段階の学習の評価をしている。またGPA評価については、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP:Grade Point Total）に置き換え、GPを算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等

（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなくご家族や学費負担者とも面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状態を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック、			
（就職指導内容） 入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の状態		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	3 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適応、修学意欲低下等		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。 また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	柔道整復スポーツ トレーナー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	193 単位（3805 時間）	147.5 単 位 (2545 時間)	10 単位 (150 時 間)	7.5 単位 (390 時 間)	単位時間 / 単位	28 単位 (720 時 間)
			3805 単位時間／193 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		48 人	0 人	5 人	18 人	23 人	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。							

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 昼間部 3 年制にて前期・後期の 2 期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して 4 段階の学習の評価をしている。また GPA 評価については、評価結果を 5 段階評価 (A から E) に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数 (GP: Grade Point Total) に置き換え、GP を算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
(概要) 学生の修得状況の把握のために小テストなどを科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなくご家族や学費負担者とも面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 整骨院、			
(就職指導内容) 入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 柔道整復師国家資格取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	3 人	6.1%
(中途退学の主な理由) 学力不振、心神耗弱・疾患等		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生 の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」 を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々 の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手 とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しく ない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。 また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心 がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行 っている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉分野		教育・社会福祉専門課程		介護福祉学科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	107 単位 (2542 時間)	82 単位 (1380 時間)	15 単位 (690 時間)	10 単位 (472 時間)	単位時間 /単位	単位時間 /単位		
			2332 単位時間／107 単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60 人		5 人	1 人	3 人		12 人		15 人	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第 2 条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。									

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 昼間部 3 年制にて前期・後期の 2 期制にて運営している。授業運営について は、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・実 習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法

（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して４段階の学習の評価をしている。また GPA 評価については、評価結果を５段階評価（ＡからＥ）に置き換え、その評価を４から０までの点数（GP:Grade Point Total）に置き換え、GP を算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなくご家族や学費負担者とも面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 福祉業界、			
（就職指導内容） 入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	1 人	25%
（中途退学の主な理由） 修学意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。		

また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	100,000 円	700,000 円	385,000 円	実習費・設備費等
柔道整復スポーツ トレーナー学科	100,000 円	800,000 円	385,000 円	実習費・設備費等
介護福祉学科	100,000 円	700,000 円	375,000 円	実習費・設備費等
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組をホームページに掲載し広く社会へ公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 岡山県看護協会	2026 年 4 月～2027 年 3 月	職能団体

公益社団法人 岡山県柔道整復師会	2026 年 4 月～2027 年 3 月	職能団体
一般社団法人 岡山県介護福祉士会	2026 年 4 月～2027 年 3 月	職能団体
美作市市議会議員	2026 年 4 月～2027 年 3 月	地域
美作高等学校	2026 年 4 月～2027 年 3 月	高等学校
	2026 年 4 月～2027 年 3 月	卒業生
	2026 年 4 月～2027 年 3 月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
URL : https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
第三者評価未実施		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.msmn.ac.jp